

SOUL & SOCIETY FRAMEWORK

2023



ecosystem
restoration
communities

目次

モニタリングと評価の違い	3
<u>包括的フレームワーク</u>	
SOUL	4
測定するもの	6
サンプリングデザインと時間枠	6
ERC メンバーアンケート #1	7
ERC メンバーアンケート #2 /インタビュー	8
ERC リーダーアンケート / インタビュー	7
WHAT WE'LL DO WITH THE RESULTS	10
結論	10
付録 1 (一時的な)ERC メンバー向けテンプレートメール	11
付録 2 利害関係者のマッピング(関心&パワー)	13
付録 3 利害関係者マッピング(影響範囲)	14
付録 4 半構造化インタビューを実施するためのガイダンス	14

ERC 運動は、生態系機能の再生を支援するだけでなく、個人レベル(Soul)と社会・コミュニティレベル(Society)の両方において、相互に関連する人間システムの再生を目指しています。劣化した生態系を再生させるために協力し合うことで、個人やコミュニティも変化していきます。このような多次元的な変化こそ、私たちが「魂」と「社会」の指標を用いて監視し、評価しようとするものです。

そこで、何が起きているのかを理解するために、モニタリングと評価が必要となります。これによって、関係者の生活、考え、見解、態度、知識、スキルが、私たちの活動によってどのような影響を受けているかを評価することができます。ERC に住んでいる人、ERC で働いている人、ボランティアをしている人、ERC の周辺で学んでいる人、ERC の周辺で生活している人が含まれます。

たとえば、「一般の人々が生態系の再生を手動できるようにする」という目標については、ERC の活動がいわゆる波及効果をもたらしているかどうかを評価することによって、監視することができます。これは、より広い範囲の人々に生態系修復に取り組むようにインスパイアし、再生活動を行うための地元の ERC プロジェクトを立ち上げることさえも促します。

人々が私たちの活動についてどう考え、どう感じているかを知ることで、私たちが提供するものを、人々が求めているものにより近いものに変えていくことができるでしょう。私たちは失敗から学び、改善することができるのです。

モニタリングと評価の違い

この文脈では、モニタリングとは、定期的に情報を収集して、私たちの活動が個々の人々やそのコミュニティにどのような影響を与えているかを知ることです。本ガイドが提示している「魂と社会(Soul and Society)」の指標では、モニタリングの主な方法はアンケート調査です。さらに、関心の高い個人や事例(キー・インフォーマント)をフォローアップするために、半構造化インタビューを行うこともあります。これらのアンケートを対象者に送付し、定期的に情報を収集することが、復興中の「魂(soul)」と「社会(society)」のモニタリングを成功させる鍵です。評価とは、ERC が人々や社会にどのような影響を与えているかを物語るために、アンケート調査からの回答を集め、パターンや傾向を引き出して分析することです。

包括的フレームワーク

私たちは、ERC(生態系の再生と保全)が引き起こす影響を 3 つのカテゴリに基づいて測定するモニタリングおよび評価フレームワークを設計しました。3 つのカテゴリとは次のとおりです。「土壌」は、地上で起こっている生態系の変容をカバーします。「魂」は、人々の態度や行動の変化を反映します。「社会」は、周囲の生態系の劣化と関連する人間社会と経済へのポジティブな影響に関連しています。生態系の修復がこれら 3 つの領域すべてに影響を与えることを知っているため、私たちは、これらすべての変化を測定する包括的なフレームワークの設計を行いました。

魂(SOUL)

成果	指標	検証手段
ボランティアとして ERC と交流する人々(訪問者、学生/インターン、ボランティア)は、その経験によってプラスの影響を受ける	ERC の KPI: # 肯定的な個人的変化を報告する人々(変化の体験談による裏付け) その他: #ERC を去った後と1年後に、エンパワメントの感情を報告する人 #例えば再生の技術を適用する力を与えられたと感じる人 #自然との一体感が増したと報告する人々	ERC 参加者アンケート #1 ERC 参加者アンケート #2 半構造化インタビュー
多くの人々が生態系の再生に関与し、取り組んでいる	ERC の KPI: # ERC の活動に参加した人数 その他 #新しい ERC の設立を希望する参加者 #ERC に復帰した人々	ERC リーダーアンケート ERC リーダーインタビュー ERC 参加者アンケート#1 ERC 参加者アンケート#2 コミュニティ調査

成果	指標	検証方法
劣化した生態系と景観全体の回復に取り組む関係者の共生コミュニティの拡大	ERC の KPI: #ERC と地元／関連ステークホルダーとの「垣根を越えた」パートナーシップ その他: #ERC と定期的に接触していると報告する人々	コミュニティアンケート ERC リーダーアンケート インタビュー
RCの存在は、ERC内およびERC周辺に住む人々の生活にプラスの影響を与えている	ERC の KPI: #生計をたてられるようになった／影響を受けた生計の数 その他: #経済状況の改善を報告した人々 #ERC が提供した技術や知識から恩恵を受けたと報告する人 ERC インタビュー	コミュニティ調査 ERC リーダー調査 インタビュー

測定するもの

上記の表からわかるように、私たちは活動の結果として(高い)目標や成果を掲げています。先に挙げた指標は、具体的で観察可能かつ測定可能な現象で、変化や目標の達成に向けた進捗を示すために使用できます。デジタル調査、インタビュー、ログシステム(例:スプレッドシート、日記、日誌など)といった検証手段を通じて、これらの指標を質的・量的に評価します。

ERC のグローバル・ネットワークでは、生態系回復の重要な指標として重要業績評価指標(KPI)が特定されており、これによって私たちは共通の目標に向かって努力し、進捗状況を伝えることができます。KPI 以外にも、プロジェクト固有の目標に沿って、他の指標を定義したり、調査の質問から「抽出」したりすることができます。これを行うには、ターゲット/サンプル対象の観察者から「魂(Soul)」および「社会(Society)」の指標のデータを収集できる方法(調査および半構造化インタビュー)が必要です。これらの調査(または検証手段)により、これまでの進捗状況や目標の達成状況を定量的および定性的に評価することができます。調査データの収集と予備的な分析の後、半構造化インタビューを行うことで、生態系修復プロジェクトが人々にどのような影響を与えているかをより深く理解するのに役立ちます。同時に、個人や社会の変化を捉えたり共有したりすることができます。

アンケート調査の開発には、人道支援の文脈で広く使用されているデータ収集および管理のためのオープンソースツールである KoBo Toolbox を使用しました。KoBo Toolbox を使用すると、ユーザーは調査の設計だけでなく、異なる方法での配布、回答者データの KoBo クラウドへの保存、データの簡単なアクセス/分析が可能です。

このプラットフォームでは、3 つの異なるアンケート調査の配布手段が可能です(各 ERC の状況を考慮して、どれを使用するかを決定する必要があります)：

1. リンクを使用したオンライン配布: 各アンケート調査にはリンクが設定されており、メールなどで共有するだけで、サンプリングされた個人がアクセスして記入できます。提出物は自動的に KoBo Toolbox ウェブサイトに保存され、分析またはダウンロードが可能です。
2. KoBo Toolbox アプリを使用したオンライン/オフライン配布: with the KoBoCollect アプリを使用すると、携帯電話やタブレットを使用して、オンラインまたはオフラインでアンケート調査にアクセスし、配布することができます。送信内容は KoBo Toolbox のウェブサイトに保存され、分析やダウンロードに利用できます。
3. 印刷された用紙を使用したオフライン配布: 上記の方法でアンケートをとることが難しい場合は、印刷した用紙を配布することもできます。収集されたデータは写真またはスキャンされた文書として、モニタリング & 評価チームに電子メールで送信する必要があります。

サンプリングデザインとタイムフレーム

統計用語では、サンプルとは、調査対象の全人口の代表的な部分集団のことです。対象集団が非常に大きい場合、すべての個々の人々を調査するのは困難で時間がかかりすぎます。そのような場合は、サンプリング、つまり、より小さな対象集団を選ぶことが推奨されます。

時間の経過と変化を測定するため、これらの調査をいつ、どのくらいの頻度で実施すべきかを定義するための時間枠(タイムフレーム)が必要です。以下は、各調査(リンクあり)およびインタビューのサンプル数と時間枠の選択方法について、私たちが提案するものです。

ERC 参加者アンケート #1

[アンケート 1を見る](#)

この最初のアンケート調査は、地球再生者、つまりERCの仕事に参加している人々(またはその影響を受けている人々)がどのように感じているか、そしてその経験が彼らの人生にどのように影響を与えたかを評価するために作成されました。このアンケートには28の質問があり、回答には約15分かかります。

可能であれば、このアンケートをERCプロジェクト(ボランティア活動やアクション、ワークショップ、その他のERCでの提供活動への参加など)での人々の旅の最終日に、キャンプ参加者全員に電子メールで送信することをお勧めします。一番良いのは、キャンプ参加者にプログラムの終了時にこのアンケートに記入する時間を割り当てることです。そうしたプログラムの最後に、まだ現場にいて作業の影響が「新鮮な」状態である間に記入してもらいます。それが不可能な場合は、参加者にできるだけ早く記入するように招待するのが良いでしょう。アンケートを受け取った人全員が回答するとは限らないため、サンプル数は事前に定義されておらず、完全に回答数に依存します。

メールでアンケートを送信できない場合(たとえば、デジタルデバイスの制限やインターネットへのアクセスが制限されている場合)、アンケートに回答しやすいように、アプリをインストールしたタブレットを会場に置いたり、印刷したものを用意したりすることを検討してください。できれば良いのは、各プログラムの参加者の少なくとも50%が評価調査に回答することです。

ERC 参加者アンケート #2 / インタビュー

[アンケート 2を見る](#)

この調査は、第1回調査で報告された感情やインパクトが、時間の経過とともにどのように変化し、あるいは持続しているかを調査するために設計されました。

1年後のフォローアップとして、ERC参加者アンケート2を、最初のアンケートが完了してから1年後にEメールでお送りください。こうすることで、最終的なサンプルは両方の調査に回答した人々で構成され、調査結果の分析に利用できます。

ERCでの体験から1年後に調査を行うことで、参加者に対する復興体験の長期的な影響を評価できるようになることを期待しています。より微妙なデータが必要な場合や望ましい場合は、半構造化インタビューを強くお勧めします(付録4参照)。

ERC リーダーアンケート / インタビュー

アンケート 3 を見る

このアンケートは、ERC のリーダーである皆さんが、ERC や皆さんの役割について考え、感じ、交流する場です。また、ERC 財団が ERC のイニシアチブの活動をどのようにサポートできるかをよりよく理解するための機会でもあります。このアンケートで評価されるもう一つの重要な成果は、例えば、ERC と周辺地域社会との間に築かれた協力関係/パートナーシップの数です(質問 25)。

本アンケート調査の準備として、利害関係者のマッピング³ を行うことをお勧めします。この作業は、あなたの活動によって影響を受ける主要な味方、パートナー、人々、団体を把握するのに役立つはずで

す。

ERC のリーダーにとっては、年に一度、毎年同じ時期に記入すればよいです。例えば、年末に記入するなど決めてください。

コミュニティアンケート/ インタビュー

アンケート4 を見る

このコミュニティ調査は、地元や地域の生態系再生コミュニティのメンバーが ERC のプロジェクトについて何を考え、何を感じているかを知るために設計されています。

この調査に備えて、利害関係者のマッピングを行うことをお勧めします。その後、コミュニティのさまざまな声や立場を代表するメンバーをマップから 10 人選び、彼らとのインタビューの時間を設定してください。調査の質問は、インタビューの台本として使用することができます。

前述に加え、ERC がより広い景色の中で、どの程度溶け込んでいるかを測定するために、無作為抽出を行うことをお勧めします。例えば、通りでランダムに選んだ個人のを調査することで実現できます。

コミュニティメンバーが見つかりやすい場所(例: 地元の市場、団体、店舗、またはコーヒーショップ)で調査を実施することが重要です。

ERC のリーダーではなく、中立の立場の人(ボランティアなど)が調査を行うことが重要です。というのも、アンケートに答える人が誰であれ、ERC を管理する人たちに対して完全に正直に、ERC について本当に思っていることや感じていることを言うのは難しいからです(バイアスがかかってしまいます)。中立的な立場のインタビュアーになら、フィルターを通さずに本音を言えるので安心でしょう。また、特に時間や人的資源が限られている場合は、アンケートを電子的に送付し、彼ら自身に記入してもらうこともできます。

ERC イニシアチブの周辺に住んでいるメンバーが英語話者でない可能性が高いため、調査の翻訳が必要になる場合があります。翻訳が必要な場合は、 mick@erc.earth に連絡してサポートを受けることができます。

調査結果の用途について

アンケート調査の記入が終わると、財団のモニタリング・評価チームがすべての回答に目を通し、調査結果を抽出します。回答を分析し、ERC 運動が ERC に関わる人々にどのような影響を与えているかを明らかにします。また、ERC が個人やコミュニティにどのような変化をもたらしているかを数字やストーリーで伝える年次報告書を作成します。さらに調査からのフィードバックに基づき、ERC 運動に参加する人々によりよく適合するよう、私たちの活動をどのように変更、改善、適応させればよいかを学びます。

収集されたデータは、ERC のオープン M&E データベースまたは ERC ナレッジ&インパクト・チームを通じて、運営チームがアクセスできるようになります。各カレンダー年の終わり(または翌年の初め)には、「魂(soul)と社会(society)」のデータに基づいたインフォグラフィックを含む年次報告書が ERC のウェブサイト上发表されます。調査やインタビューからの引用は、著者の承認があれば、このような報告書に含まれたり、ERC のソーシャルメディアやコミュニケーションチャンネルを通じて共有されることもあります。

活動が成長し、発展し、向上していくための最善の方法は、私たちが生態系、再生作業を行う人々、そして生態系の中や周辺に住む人々に与えている影響を知ることです。

これらの調査をまとめることで、ERC 運動が強化し変革するために存在する、考え、感情、知識、技術、生活の向上を発見するという野望の実現を願っています。

アンケート調査について、さらにご質問やご不明な点がございましたら、mick@erc.earth までメールでお問い合わせください。

私たちは共に、地球と人間の精神を回復していきます！

付録 1

ERC(臨時)会員のための E メール・テンプレート

(ERC のプログラムまたは活動の終了時または終了直後にお送りください。)

…さんへ

ERC(プログラム／体験／コース名)を有意義にお過ごしいただけましたでしょうか。まだ体験が新しく心に残っているうちに、ぜひこのアンケートでご意見をお聞かせください(所要時間約 15 分)。皆様のご意見は、ERC の目的をモニターし、今後の ERC の質を向上させる上で、大変貴重なものです。

ERC、グローバル財団、そして地球全体を代表して、心より感謝申し上げます、

(署名)

(「アンケート 1」記入後、1年後に送信)

…さんへ

ERC プログラム／体験／コース名)での体験について、貴重なご意見をいただいてから 1 年が経ちました。有益なご意見をありがとうございました！

私たちは、あなたが1年前に経験をしてから、何が今も心に残っていて、何がより曖昧になったかもしれないかを聞きたいと思っています。そこで、もう 1 つアンケートにご協力ください(所要時間約 15 分)。

(ERCNAME)、グローバル財団、そして地球全体を代表して、心から感謝いたします、

(署名)

付録 1

ERC(臨時)会員のための E メール・テンプレート

(ERC のプログラムまたは活動の終了時または終了直後にお送りください。)

…さんへ

ERC(プログラム／体験／コース名)を有意義にお過ごしいただけましたでしょうか。まだ体験が新しく心に残っているうちに、ぜひこのアンケートでご意見をお聞かせください(所要時間約 15 分)。皆様のご意見は、ERC の目的をモニターし、今後の ERC の質を向上させる上で、大変貴重なものです。

ERC、グローバル財団、そして地球全体を代表して、心より感謝申し上げます、

(署名)

(「アンケート 1」記入後、1年後に送信)

…さんへ

ERC プログラム／体験／コース名)での体験について、貴重なご意見をいただいてから 1 年が経ちました。有益なご意見をありがとうございました！

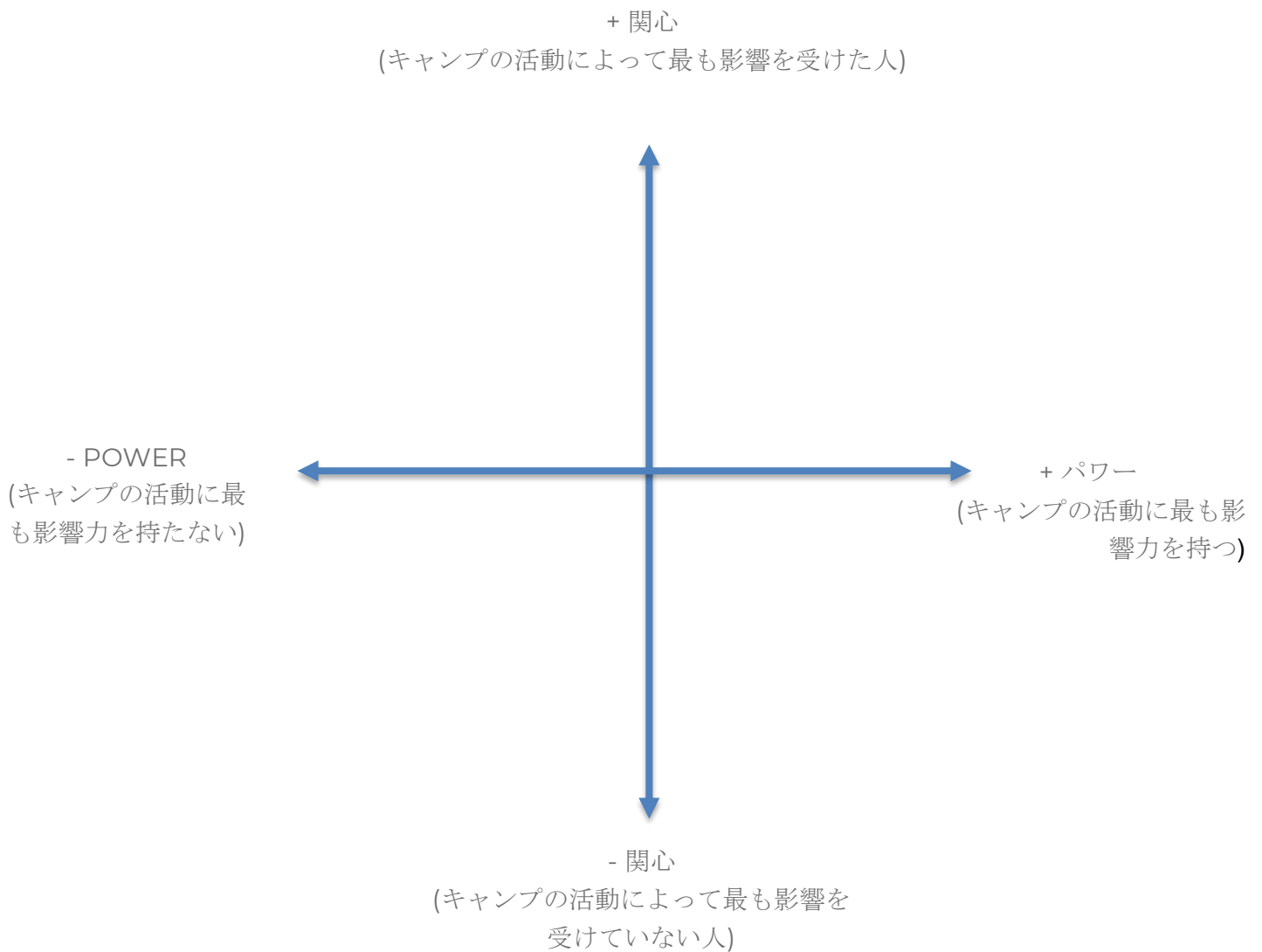
私たちは、あなたが1年前に経験をしてから、何が今も心に残っていて、何がより曖昧になったかもしれないかを聞きたいと思っています。そこで、もう 1 つアンケートにご協力ください(所要時間約 15 分)。

(ERCNAME)、グローバル財団、そして地球全体を代表して、心から感謝いたします、

(署名)

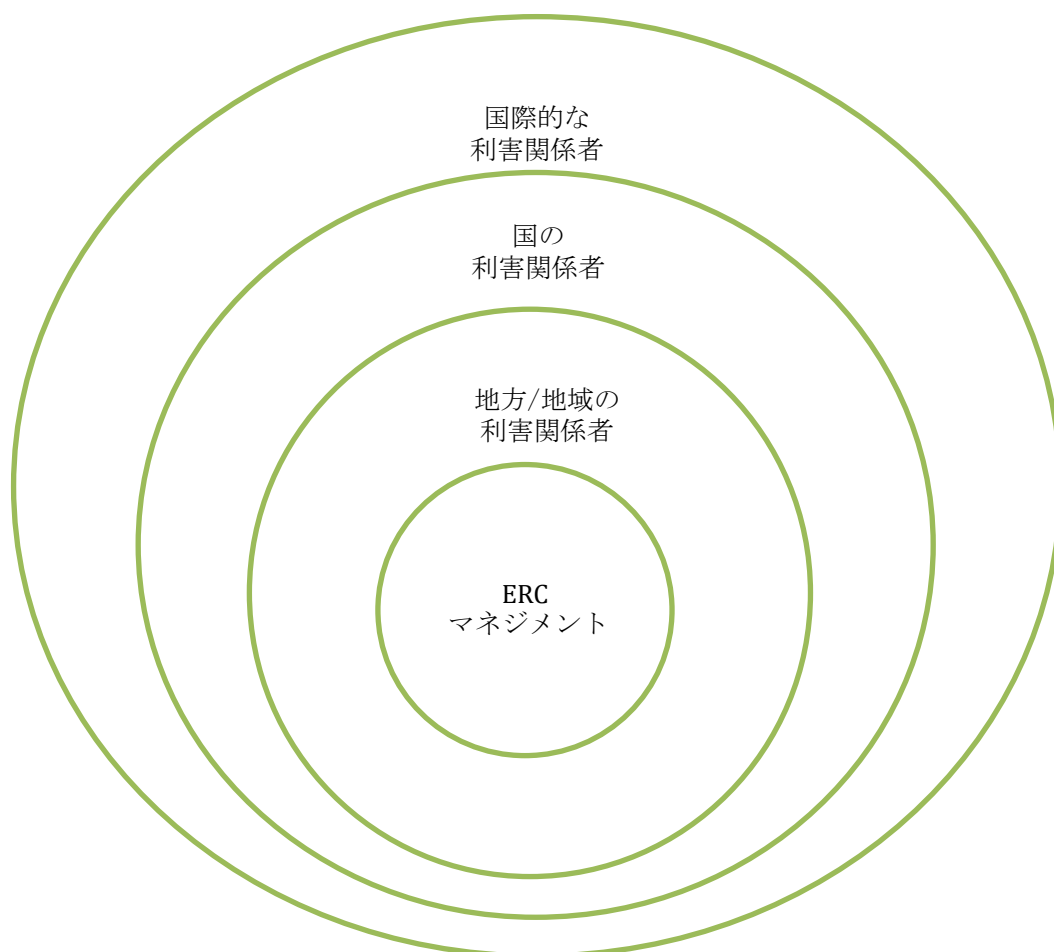
付録 2

利害関係者マッピング(関心&パワー)



付録3

利害関係者マッピング(影響範囲)



付録 4

半構造化インタビューの実施指針

半構造化インタビューは、偏りのない情報やより細やかな洞察を収集するための強力なツールです。これにより、インタビュアーは対面している個々の人に適応しながら、一般的な共通の構造を保持することができます。

コミュニティ・メンバーに対しては、一般的な共通構成として、調査 4「コミュニティ調査」を使用することを推奨します。調査票の質問項目に加え、インタビュアーはは適切であればいつでも追加の質問をすることができます。また追加の質問は積極的に行うべきです。

これが実際にどのように見えるか、いくつかの例を考えてみよう：誰かが ERC の取り組みに協力していると答えた場合（質問 9 で「はい」と答えた場合）、その協力の性質について尋ねる際（質問 10）、インタビュアーは、そのような協力的な取り組みの背景にある個人的/職業的な動機、またはそのような取り組みで感じられる満足感/利益について質問してフォローアップすることができます；さらに明確な説明が必要な場合は、インタビュアーは「なぜ」あるいは「どういう意味なのか」という質問をすることができます。ERC および/またはインタビュアーが非常に関心のあるピックについては、より深い会話を通じて掘り下げることができるが、インタビューの主な構成をカバーするためには適切な時間管理が不可欠です。

要するに、インタビュアーは、体系的(半構造的)なアプローチを採用しながらも、あらかじめ定義された質問以上のことを自由に行うことができるのである。これは、スクリプトに厳格に従うことによって、重要な情報や知識が抜け落ちてしまう可能性がある場合に特に有効です。

ボランティアにとっても、半構造化インタビューが非常に有用であることがわかる場面があるかもしれない。つまり、アンケートの回答が特に興味深かった人にフォローアップ・インタビューを行うことで、ERC 財団は私たちのインパクトに関連する深いストーリー、意見、考えを把握することができます。これらのストーリーは、ブログやビデオ、その他の形態の(ソーシャル)メディア・コンテンツにすることができます。

このようなインタビューでは、前回のアンケートの回答を出発点として、特に興味を持った回答をさらに発展させることをお勧めします。例えば、あるボランティアは、調査 1 でも調査 2 でも、「力をもらった」「将来への希望が持てた」と回答しており、オープンクエスチョンでも熱意を示していますが、具体的な事例を聞いても回答が得られません。インタビューでは、そのような個人的な変化の例を尋ねることができます。また、ERC で非常に否定的な経験をした人がいるのも事実かもしれません。この場合、半構造化インタビューは、何が起こったのか、今後 ERC のサービスを改善するにはどうすればよいのかをよりよく理解するのに役立ちます。